

—みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜—

横浜みどりアップ計画 4か年の評価・提案

横浜みどりアップ計画市民推進会議平成 29 年度報告書

横浜みどりアップ計画市民推進会議

平成 30 年●月

目 次

1	はじめに	1
2	横浜みどリアップ計画と市民推進会議	2
	(1) 横浜みどリアップ計画	
	(2) 横浜みどリアップ計画市民推進会議	
3	市民推進会議 平成 29 年度の活動実績	5
	(1) 平成 29 年度の活動の概要	
	(2) 活動の詳細内容	
	①市民推進会議（全体会議）	
	②施策別専門部会	
	③調査部会（現地調査）	
	④広報・見える化部会	
4	横浜みどリアップ計画 4か年の評価、提案	10
	◆計画の体系	
	◆評価・提案の概要	
	◆各取組の柱のハイライト	
	(1) 取組の柱 1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	●
	施策 1 樹林地の確実な保全の推進	
	施策 2 良好な森を育成する取組の推進	
	施策 3 森と市民とをつなげる取組の推進	
	(2) 取組の柱 2 市民が身近に農を感じる場をつくる	●
	施策 1 農に親しむ取組の推進	
	施策 2 地産地消の推進	
	(3) 取組の柱 3 市民が実感できる緑をつくる	●
	施策 1 市民が実感できる緑を創出する取組の推進	
	施策 2 緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進	
	(4) 効果的な広報の展開	●
	市民の理解を広げる広報の展開	
5	市民推進会議委員名簿	●
6	市民推進会議委員からのコメント	●
7	市民推進会議広報誌	●
	「みどリアップQ」（平成 29 年度発行分）	

(3)取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる

街の魅力を高め賑わいづくりにつながる緑や地域の緑、街路樹などの緑の創出に、緑のネットワーク形成も念頭において取り組めます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。

施策1 市民が実感できる緑を創出する取組の推進

事業① 民有地での緑の創出

みどり税

◆事業概要(計画書から抜粋)

緑あふれる魅力的な街をつくるためには、市民や事業者の取組が不可欠です。多くの市民が目にする場所や効果的な場所での緑の創出に対する助成、地域で親しまれている名木古木の指定や、その維持管理に必要な費用の助成など、緑の創出・保全に積極的に取り組む市民・事業者を支援します。

◆実績

項目	29年度		4か年の実績※	5か年の目標
	目標	進捗状況※		
取組 19	民有地における緑化の助成			
緑化の助成	13件	3件	20件	65件
取組 20	建築物緑化保全契約の締結			
制度運用	制度運用	制度運用	制度運用	制度運用
取組 21	名木古木の保存			
名木古木の保存	推進	推進	推進	推進
取組 22	人生記念樹の配布			
苗木の配布	8,000本	7,343本	30,436本	40,000本

※11月末時点



助成を行った地面緑化(鶴見区大黒町)



名木古木新規指定樹木(港北区篠原町)



人生記念樹の配布(都筑区役所)

事業② 公共施設・公有地での緑の創出

◆事業概要(計画書から抜粋)

多くの市民が利用する地域の公共施設から率先し、市民が実感でき、生物多様性の向上や地域の良好な景観形成につながる緑を創出します。また、緑の少ない区などを対象に緑豊かな公園を整備するほか、市民が目にする機会の多い街路樹の計画的なせん定などにより街路樹を良好に育成するための取組を拡大します。

◆実績

項目	29年度		4か年の実績※	5か年の目標
	目標	進捗状況※		
取組 23	公共施設・公有地での緑の創出・管理			
緑の創出	15 か所	実施中	56 か所	58 か所
創出した緑の維持管理	推進	推進	推進	推進
取組 24	公有地化によるシンボリックな緑の創出			
緑の創出	事業推進 5か所	事業推進 5か所	事業推進 5か所	5か所
取組 25	いきいきとした街路樹づくり			
街路樹の計画的なせん定	18 区で推進	18 区で推進	18 区で推進	18 区で推進

※11 月末時点



中央分離帯の緑化(港南区横浜藤沢線)



創出した緑の維持管理(港南区庁舎)



公有地化によるシンボリックな緑の創出
(鶴見区鶴見工業高校跡地)



街路樹の剪定(港北区新羽町)

市担当者からのコメント(環境創造局みどりアップ推進課)

- ・民有地における緑化の助成では、目標に対して助成件数が低くとどまっていますが、今年度は、公開される土地で大規模な緑化がされる案件がありました。こうした、緑化される場所の所有者の方のみならず、多くの市民の皆様にも実感される緑をつくれるよう、これまでの事業内容を精査しながら、取組を進めていきます。
- ・公有地化によるシンボリックな緑の創出の取組では、緑の少ない区などを対象に、多くの市民の目に触れる場所で、土地利用転換などの機会をとらえて用地を確保し、緑豊かな公園の整備を進めています。鶴見区では、鶴見工業高校跡地の一部を公園として用地確保し、平成30年4月の開園に向けて整備を進めています。地域のシンボルとして街の魅力を高め、緑豊かな公園として様々な花木等を植栽しました。

◆施策1についての評価・提案

- ・民有地における緑化の助成については、目標を下回る助成件数となっています。東京などの都心部でも同様の状況だと聞いています。今後は、美しい緑化の実績写真などを効果的に使いながら、市民や事業者へPRすることが必要ですが、より多くの市民が緑化を実感できる効果的な制度への見直しも必要かもしれません。
- ・人生記念樹の配布は着実に実施されており、市民へ浸透している取組となっていることを評価します。
- ・公共施設・公有地での緑の創出については、順調に取組が進んでいますので、今後も公共施設から率先して良好な緑の創出と管理に努めてください。
- ・公有地化によるシンボリックな緑の創出については、鶴見区の高校跡地を緑豊かな公園にするなど、街の魅力向上に貢献していることを評価します。エリアや土地利用転換の機会に限らず、積極的に緑化が進むことを期待します。
- ・いきいきとした街路樹事業は、市民の目に触れる機会が多い取組なので、より主要な路線を中心に上質な街路樹が創出されることを期待します。

施策2 緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進

事業③ 市民協働による緑のまちづくり

みどり税

◆事業概要(計画書から抜粋)

地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民との協働で進めます。また、平成25年度までに地域緑化計画を策定した地区については、継続して整備への支援を行います。

◆実績

項目	29年度		4か年の実績※	5か年の目標
	目標	進捗状況※		
取組 26	地域緑のまちづくり			
地域緑化推進事業	23 地区 (うち新規 5 地区)	25 地区(予定) (うち新規 7 地区)	42 地区 (うち新規 26 地区)	46 地区 (うち新規 30 地区)

※11月末時点



沿道の緑化(栄区湘南桂台地区)



活動地区の現地見学会(緑区三保町宮根地区)

事業④ 子どもを育む空間での緑の創出

みどり税

◆事業概要(計画書から抜粋)

次世代を担う子どもたちが緑と親しみ、感性豊かに成長できるよう、子どもが多く時間を過ごす保育園、幼稚園、小中学校を対象に、園庭・校庭の芝生化など、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑の創出・育成を進めます。緑の創出にあたっては、子どもたちと生き物とのふれあいが生まれるような空間づくりに取り組みます。

◆実績

項目	29年度		4か年の実績※	5か年の目標
	目標	進捗状況※		
取組 27	保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出			
緑の創出	20 か所	実施中	118 か所	100 か所
芝生等の維持管理	推進	推進	推進	推進

※11月末時点



園庭の芝生化(南区三春台保育園)



樹木等による緑化(戸塚区東台幼稚園)



校庭・園庭芝生の育て方講座



児童によるビオトープ計画づくりへの支援
(泉区和泉小学校)

◆事業概要(計画書から抜粋)

多くの市民が時間を過ごし、国内外から多くの観光客が訪れるエリアである都心臨海部において、来訪者の回遊性向上や生物多様性確保の観点から、エリア内での緑のネットワーク形成に寄与することも念頭に、公共施設を中心に緑や花による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開し、街の魅力形成・賑わいづくりにつなげます。

◆実績

項目	29年度		4か年の実績※	5か年の目標
	目標	進捗状況※		
取組 28	都心臨海部の緑花による賑わいづくり			
都心臨海部の緑花	推進	推進	推進	推進
緑花の維持管理	推進	推進	推進	推進

※11月末時点



緑花の維持管理(中区港の見える丘公園)



管理者の企画によるバラ園のガイドツアー(中区山下公園)

市担当者からのコメント(環境創造局みどりアップ推進課)

- ・市民協働による緑のまちづくりでは、多くの応募をいただく中で、最終的に7団体が選考を通過しました。多くの地域で、こうした地域に根差した緑のまちづくりの機運が高まっていると感じています。また、協定締結期間が終了する団体からも、緑や花が増えたという喜びの声や、緑を通じた地域のつながりが強まったなどの声も寄せられています。
- ・子どもをはぐくむ場である小中学校におけるビオトープの再整備の取組では、専門家を派遣して整備計画づくりや維持管理、授業での活用法のアドバイスを行っています。子どもたちが生き生きとビオトープや地域の生き物について学び、計画づくりや整備、利用のルールづくりなどに取り組んでいる姿を見て、やりがいを感じています。
- ・29年春に開催された全国都市緑化よこはまフェアでは、これまで都心臨海部で育成してきた花や緑を多くの市民の皆様楽しんでいただくことができました。春と秋には、管理者(市・受託者)の企画により山下公園等のバラ園でガイドツアーを開催したり、秋には市民や企業の皆様と連携して公園や街路樹等に球根の植え付けを行いました。引き続き、市民や企業の皆様と一緒に、花と緑により街の魅力を高めていきたいと思えます。

◆施策2についての評価・提案

- ・地域緑のまちづくりは、地域が主体となって進めることで、緑化活動が地域に広がり、緑や花があふれる街の中で心豊かに暮らす楽しさにもつながっていると思えます。提案件数が増えていることも、市民ニーズの高まりと言え、地域に愛される緑が増えていることを評価します。これまで団体取り組んだ活動のノウハウが共有されることで、地域における自主的な活動がより活性化することを望みます。
- ・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出は既に5か年目標を上回る実績となっており評価します。また、維持管理のための講座は、創出した緑の継続性だけでなく、学校のビオトープの整備や維持管理に児童が関わることは、子どもの教育の観点からも意義があると言えます。
- ・都心臨海部の緑花による賑わいづくりとして整備された山下公園や港の見える丘公園は、全国都市緑化よこはまフェアの会場となり、美しく手入れされた緑や花を楽しむために多くの市民が訪れ、市民の皆様の緑や花への関心が高まっています。今後もこの事業が、横浜の魅力の向上に寄与することを期待します。

「緑をつくる」施策を検討する部会 部会長コメント

池邊 このみ